

第三十六号の八様式（第六条関係）（A4）

定期検査報告書

（防火設備）

（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

ひたちなか市長 様

年 月 日

報告者氏名

検査者氏名

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】

【ロ. 名称のフリガナ】

【ハ. 名称】

【ニ. 用途】

二面6欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスにチェックを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」にチェックを入れた場合のみチェックする。

【4. 検査による指摘の概要】

■要是正の指摘あり（■既存不適格） □指摘なし

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		
係員印		

防火設備の状況等

報告対象の防火設備が設置されている棟について記入する。

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 階 地下 階  
【ロ. 建築面積】 m<sup>2</sup>  
【ハ. 延べ面積】 m<sup>2</sup>

報告対象の防火設備が設置されている棟の直近の建築確認または完了検査について記載する。

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号  
【ロ. 確認済証交付者】  建築主事等  指定確認検査機関 ( )  
【ハ. 検査済証交付年月日】 年 月 日 第 号  
【ニ. 検査済証交付者】  建築主事等  指定確認検査機関 ( )

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 年 月 日実施  
【ロ. 前回の検査】  実施 ( 年 月 日報告)  未実施  
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】  有  無

調査日ではなく報告日を記入

検査日から3か月以内に報告

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

防火設備検査員の場合は、資格者証の写しを添付

随時閉鎖式防火扉の枚数を記入する（常時閉鎖式防火扉は含めない）。防火扉が両開きや親子扉の場合の枚数は、両方セットで1枚と計上してください。

防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーンについては、個々の扉又はカーテン部ごとに枚数を計上してください。ドレンチャーについては、散水ヘッドの数を計上してください。  
※図面にも防火区画の位置、防火設備の位置・種類（防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーン、ドレンチャー、その他）を明示して

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

- 区画避難安全検証法（      階）
- 階避難安全検証法（      階）
- 全館避難安全検証法
- その他（      ）

【ロ. 防火設備】

- 防火扉（      枚）                       防火シャッター（      枚）
- 耐火クロススクリーン（      枚）  ドレンチャー（      台）
- その他（      台）

当該欄にチェックが入るのは、指摘事項が既存不適格のみであるときにチェック

【6. 防火設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】       要是正の指摘あり（ 既存不適格）     指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 防火シャッター（**堅穴区画**）：一部の防火シャッターが閉鎖しない。

【ハ. 改善予定の有無】  有（○年○月に改善予定）     無

・指摘事項が既存不適格のみ場合は、ロ欄は空欄としてください。  
・「要是正」がある場合のみ、要是正の指摘があった防火設備の種類及び当該防火設備の区画の種類（**堅穴区画**、**面積区画**、**異種用途区画**、その他の区画のうち、該当するもの）を示し、指摘の概要を記載してください。

【7. 防火設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】       有     無

【ロ. 不具合記録】  有     無

【ハ. 改善の状況】  実施済     改善予定（    年    月に改善予定）

【8. 備考】

＜記入例＞

- ・○年○月○日新築
- ・全館避難安全検証法により令第123条第1項第6号に規定する防火設備の設置免除
- ・（前回調査時以前に不具合等を把握し、現在に至るまで不具合等であるものを具体的に記載してください。）

- ① 新築年を記載してください。また、前回報告より前の増・改築・用途変更の履歴を記載してください。
- ② 避難安全検証法又は全館避難安全検証法で防火設備の設置が免除されている場合は記載してください。

前回検査時以降に把握した不具合（火災時の防火設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの）について記載してください。

※前回検査時以前に不具合等を把握し、現在に至るまで不具合等であるものは、直下の【8. 備考】欄に記載願います。

※いずれの項目にも当てはまらないもので、特記すべきものについては、検査結果表の特記事項欄に任意に番号をふって記載願います。

(第三面)

防火設備に係る不具合の状況 **〈記入例〉**

---

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等
○年○月	防火扉の誤作動	熱を感知する ヒューズの故障	○年○月	ヒューズの全数点 検及び一部交換